

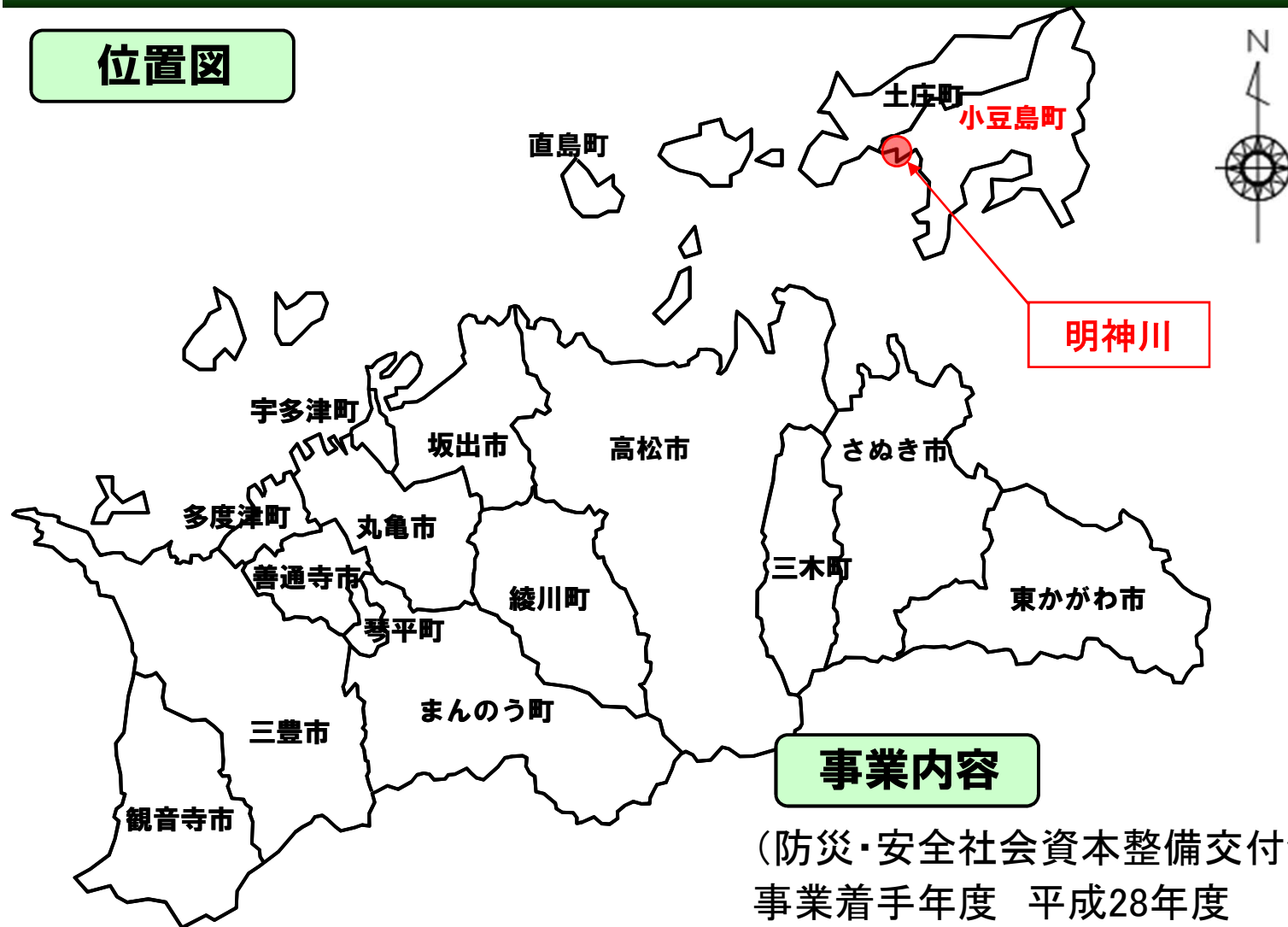
新規事業採択時評価対象事業

明神川(蒲生)事業間連携砂防等事業

香川県 河川砂防課

◇ 1 事業の概要

位置図



事業内容

(防災・安全社会資本整備交付金)通常砂防事業
事業着手年度 平成28年度
事業箇所 小豆郡小豆島町蒲生
事業費 221百万円
実施内容 砂防堰堤1基、溪流保全工130m

◇ 1 事業の概要

流域の概要

明神川(土石流危険溪流)

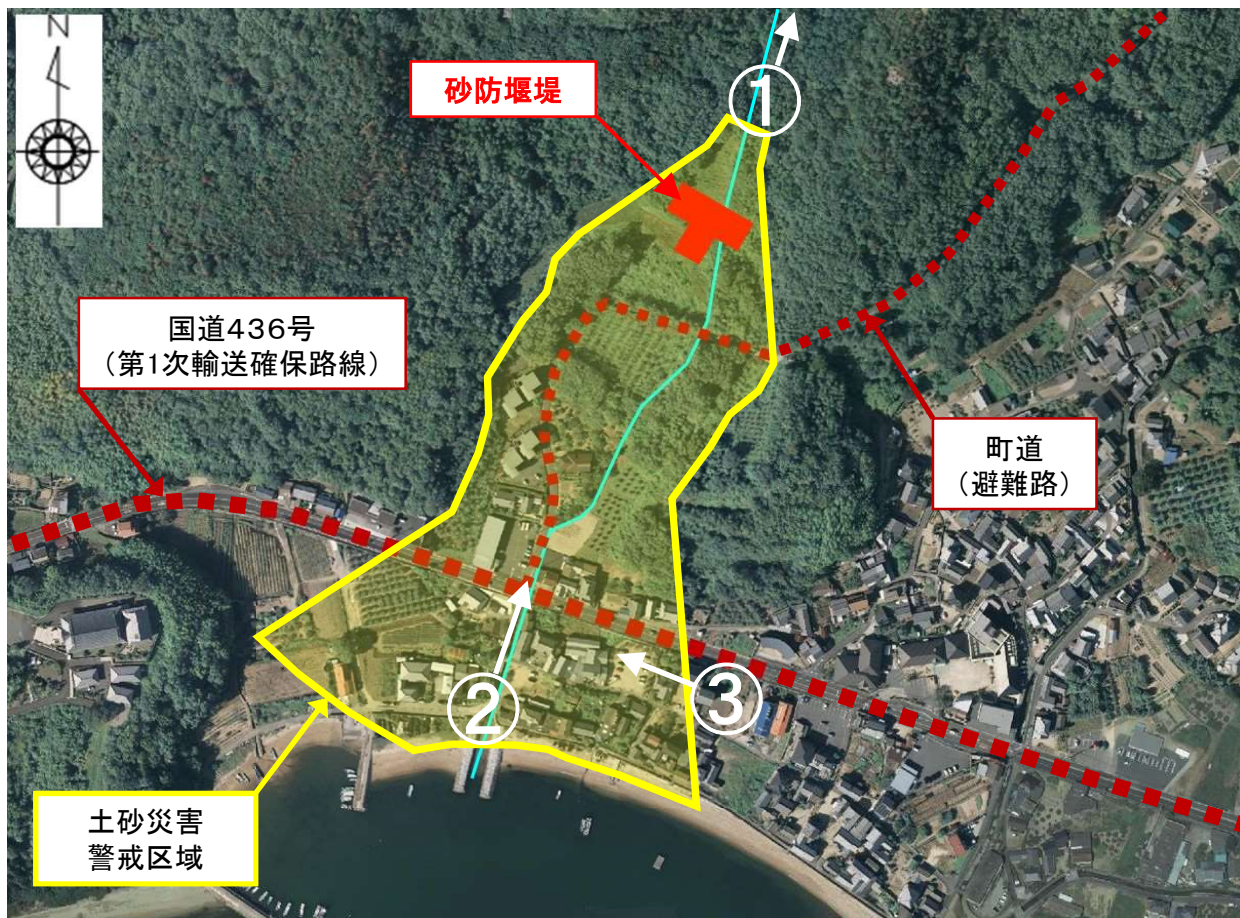


◇ 1 事業の概要

保全対象

事業の主な保全対象

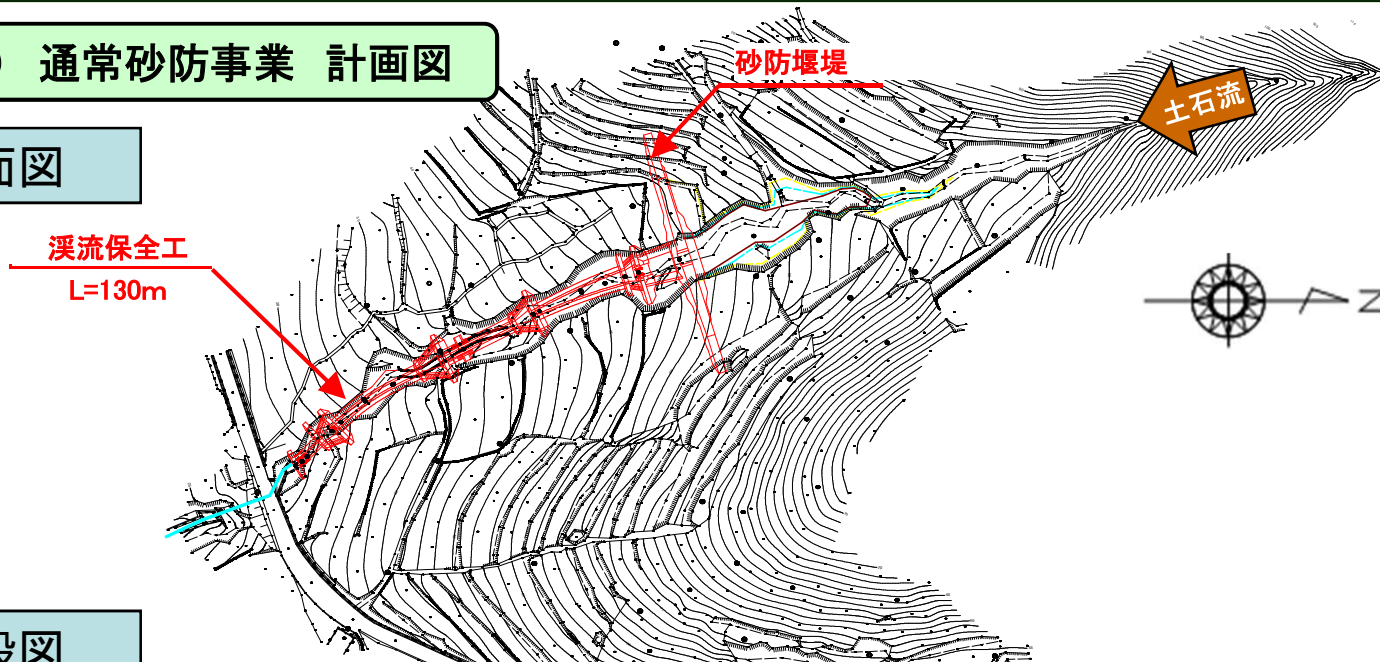
- ・人家 34戸
- ・国道436号 187m
- ・町道 623m 等



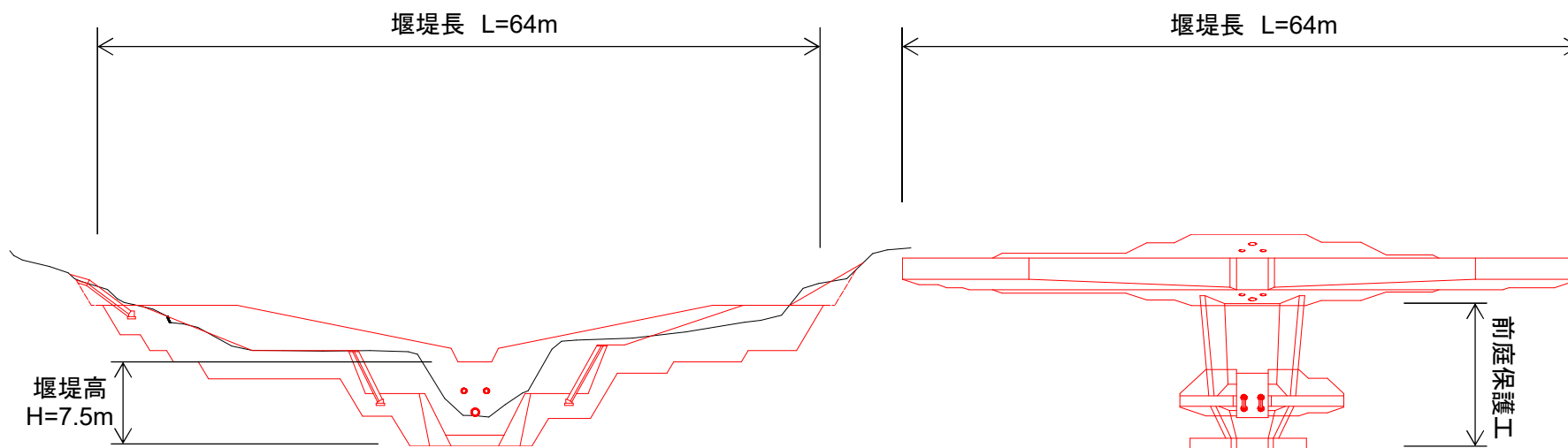
◇ 1 事業の概要

明神川(蒲生) 通常砂防事業 計画図

計画平面図



堰堤一般図



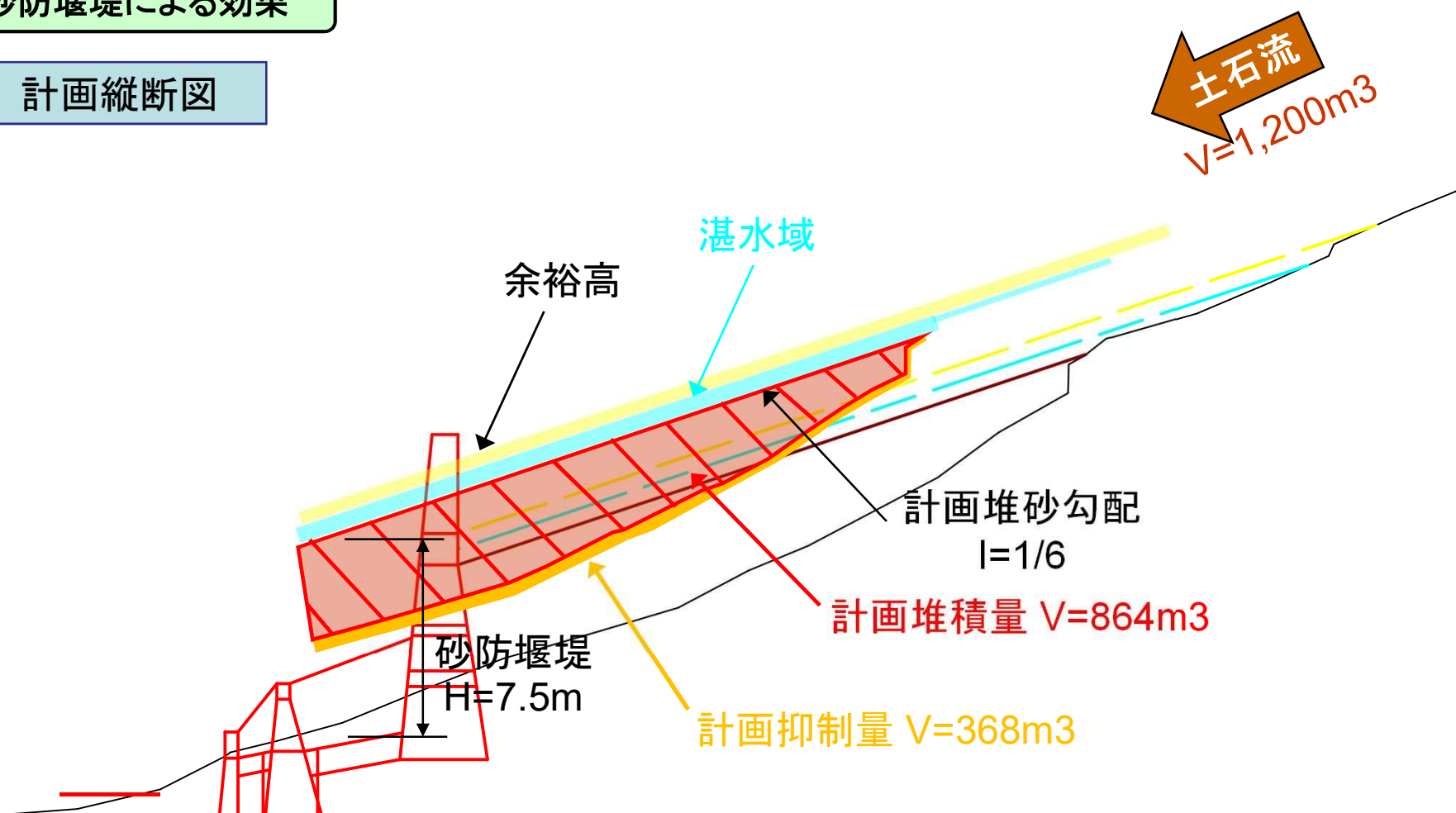
(堰堤正面図)

(堰堤平面図)

◇ 1 事業の概要

砂防堰堤による効果

計画縦断面図



堰堤地点での計画流出土砂量 $1,200\text{m}^3$ を砂防堰堤の計画堆積量(赤線で囲まれた部分) 864m^3 と計画抑制量(オレンジ着色部分) 368m^3 で止める。

◇2 費用対効果分析

費用便益比(B/C)などの算定

費用便益比 (B / C) の算定結果

・ 総便益 $B = 3,058.7$ (百万円)

〔 便益 = 3,047.9 (百万円)
残存価値 = 10.8 (百万円) 〕

・ 総費用 $C = 219.0$ (百万円)

〔 建設費 = 216.3 (百万円)
維持管理費 = 2.7 (百万円) 〕

費用便益比 $B / C = 13.97$

純便益 (B - C) の算定結果

・ 純便益 $B - C$

2,839.7 (百万円)

明神川 砂防事業の便益評価

- ・ 直接被害
家屋34戸、国道等公共土木施設、
人身被害 (逸失利益)
- ・ 間接被害
人身被害 (精神的損害額)

◇3 対応方針（案）

1. 新規事業採択時評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 明神川の主な保全対象として、人家34戸、国道436号（第1次輸送確保路線）、町道（避難路）等を含む土石流危険渓流である。流域には多量の不安定土砂が堆積しており、次期出水により土石流が発生する危険性が高まっている状況であり、土砂災害が発生すれば、下流域に甚大な被害が発生するおそれがある。近年の気候変動の影響により、全国的に災害が激甚化・頻発化する傾向にあることから、早期の土砂災害対策が必要である。

2) 事業の投資効果

- 費用便益比（B／C） 13.97

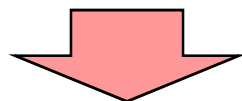
3) 事業の進捗状況

- 令和3年度に砂防堰堤や渓流保全工の整備に必要な事業用地の取得は全て完了しており、今年度から工事用道路に着手している。進捗は事業費ベースで24%である。

②事業の進捗の見込みの視点

- 事業用地は全て取得済であり、工事用道路については、今年度中の完成を予定している。次年度以降も継続して工事を実施することが可能であることから、円滑に進捗が図れる見込みである。

2. 対応方針（案）



対応方針（案）：実施